

令和8年度 年間授業計画

教 科：芸術 科 目：器楽 単位数：2

対象学年：第3学年

使用教材	教科書：	なし
	補助教材：	なし

教科（芸術）の目標

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（器楽）の目標

【知識及び技能】	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

令和8年度 年間授業計画 科目 (器楽)

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	感	記号時数
			歌唱	演奏	創作						
1 学 期	単元	ピアノの基礎を身に付けよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能					
		・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解する。・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	構え方、基本奏法				・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現					
	知覚したことを感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、自己のイメージをもって創意工夫して表現する。	教師作成プリント		○			知覚したことを感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、自己のイメージをもって創意工夫して表現している。	○	○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に表現活動に取り組む、音楽文化に親しむ態度を養う。	模範演奏、記録					主体的・協働的に表現活動に取り組む、音楽文化に親しんでいる。				
	単元	様々な音楽に親しもう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能					
		・音価・リズムを正確に理解する ・拍子や記号などの音色や奏法との関わりについて理解する ・創意工夫を生かした表現をするために必要な演奏技術を身に付ける	パロッド音楽、古典派音楽				・音価・リズムを正確に理解している。 ・拍子や記号などの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な演奏技術を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現					
	音色、リズム、速度、強弱、形式、構成などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	名曲DVD			○		音色、リズム、速度、強弱、形式、構成などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫している。	○	○	○	3
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	映像資料					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる。					
定期考査（中間考査）/返却と解説											
単元	ピアノの基礎を身に付けよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。					
知識及び技能	指導事項				知識・技能						
	0	基本奏法				0					
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現						
0	教師作成プリント		○			0	○	○	○	6	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
0	模範演奏、記録					0					
単元	様々な音楽に親しもう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。					
知識及び技能	指導事項				知識・技能						
	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解する。・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	古典派音楽、ロマン派音楽				・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。					
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現						
知覚したことを感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、自己のイメージをもって創意工夫して表現する。	名曲DVD			○		知覚したことを感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、自己のイメージをもって創意工夫して表現している。	○	○	○	3	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
主体的・協働的に表現活動に取り組む、音楽文化に親しむ態度を養う。	映像資料					主体的・協働的に表現活動に取り組む、音楽文化に親しんでいる。					
定期考査（期末考査）/返却と解説											

令和8年度 年間授業計画 科目（音楽）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
		歌唱	音楽	創作						
単元 工夫してピアノを演奏しよう 知識及び技能 指導事項 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解する。 思考力、判断力、表現力等 教材 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴く。 学びに向かう力、人間性等 一人1台端末の活用場面 主体的・協働的に鑑賞に取り組み、音楽文化に親しむ態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に鑑賞に取り組み、音楽文化に親しんでいる。	○	○	○	6	
単元 様々な音楽に親しもう 知識及び技能 指導事項 0 ロマン派音楽 思考力、判断力、表現力等 教材 0 名曲DVD 学びに向かう力、人間性等 一人1台端末の活用場面 0 映像資料	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 0 思考・判断・表現 0 主体的に学習に取り組む態度 0	○			3	
定期考査（中間考査）/返却と解説										
単元 工夫してピアノを演奏しよう 知識及び技能 指導事項 ・音価・リズムを正確に理解する ・拍子や記号などの音色や奏法との関わりについて理解する ・創意工夫をまかした表現をするために必要な演奏技術を身に付ける 思考力、判断力、表現力等 教材 音色、リズム、速度、強弱、形式、構成などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する 学びに向かう力、人間性等 一人1台端末の活用場面 主体的・協働的に協働に強く活動に取り組む 規範演奏、記録	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 ・音価・リズムを正確に理解している。 ・拍子や記号などの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫をまかした表現をするために必要な演奏技術を身に付けている。 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、強弱、形式、構成などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫している。 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に協働に強く活動に取り組んでいる。	○	○	○	6	
単元 様々な音楽に親しもう 知識及び技能 指導事項 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解する。 思考力、判断力、表現力等 教材 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴く。 学びに向かう力、人間性等 一人1台端末の活用場面 主体的・協働的に鑑賞に取り組み、音楽文化に親しむ態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に鑑賞に取り組み、音楽文化に親しんでいる。	○	○	○	3	
定期考査（期末考査）/返却と解説										

2
学
期

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	感	配当時数
			歌唱	器楽	創作						
3 学 期	単元	ピアノ弾き語り挑戦しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				10
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
		・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解する。・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	ピアノを弾きながら歌う				・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現					
		知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、自己のイメージをもって創意工夫して表現する。	教師作成プリント	○	○		知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、自己のイメージをもって創意工夫して表現している。	○	○	○	
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
		主体的・協働的に表現活動に取り組み、音楽文化に親しむ態度を養う。	模範演奏、記録				主体的・協働的に表現活動に取り組み、音楽文化に親しんでいる。				
	単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
		・音価、リズムを正確に理解する ・拍子や記号などの音価や奏法との関わりについて理解する ・創意工夫を生かした表現をするために必要な演奏技術を身に付ける	0				・音価、リズムを正確に理解している。 ・拍子や記号などの音価や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現をするために必要な演奏技術を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
		音価、リズム、速度、強弱、形式、構成などを知識し、それらの動きを感受しながら表現を工夫する	0				音価、リズム、速度、強弱、形式、構成などを知識し、それらの動きを感受しながら表現を工夫している。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	0				主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる。					
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。					
知識及び技能	指導事項					知識・技能					
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解する。	0				曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現					
	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きを感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴く。	0				音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きを感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
	主体的・協働的に鑑賞に取り組み、音楽文化に親しむ態度を養う。	0				主体的・協働的に鑑賞に取り組み、音楽文化に親しんでいる。					
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。					
知識及び技能	指導事項					知識・技能					
	0	0				0					
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現					
	0	0				0					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
	0	0				0					
定期考査（期末考査）/返却と解説											
合計											
70											